

実践記録

学校/学年	小学校 / 6年	
教科等：単元名	学級活動：携帯電話の正しい使い方	
キーワード	携帯電話 問題点 対処方法	
情報モラル指導 モデルカリキュラム表における 目標	分類	情報社会の倫理 法の理解と遵守 安全への知恵 情報セキュリティ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	c3：情報社会でのルール・マナーを遵守できる d3：情報社会の危険から身を守るとともに、不適切な情報に対応できる
	中目標項目番号 中目標項目内容	c3-2：「ルールや決まりを守る」ということの社会的意味を知り、尊重する d3-1：予測される危険の内容がわかり、避ける
授業会場	パソコン教室 普通教室 特別教室〔 〕 その他〔 〕	
学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話でできることを知る。 ・携帯電話取り扱い上の問題点を知り、よりよい活用方法を身につける。 	
使用教材	教材名	ちょっと待って、ケータイ DVD 映像ストリーミング
	製作者	文部科学省 エル・ネット（教育情報通信ネットワーク）
	入手先(URL等)	http://www.elnet.go.jp/elnet_docs/keitai-dvd.htm

展開案

	学習活動	指導 評価
導入	1. 携帯電話の機能について知る。 2. 映像（事例1・2）を視聴する。	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの意見から広げ、通話、メール、インターネットについては全員で確認する。 ・登場人物の携帯の使い方に注目させる。
展開	3. 携帯電話で情報交換する実際のケースについて、問題点とその対処方法を考える。 4. グループで意見交換を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・映像を振り返って考えさせたり、自分だったらどう対処するかを考えさせたりする。 ・友の考えを聞き、よりよい対処方法をさらに考えさせる。
おわり	5. 携帯電話の取り扱い上の問題点とその対応についてまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・全体で意見をまとめ教師側で補足を行う。取り扱い上の問題点とよりよい対応について理解できたか。

授業の成果

- ・現時点で所有している児童はまだごく少数だが、全員が持ちたいと考えていること、今中学生になって持つ生徒が増えているということを考えると、この学習は小学校高学年で行うことが望ましいと思う。実際、ビデオを興味深く視聴し、積極的に考える姿がみられた。子どもからは「携帯は便利ですがごく欲しかったけど、怖い部分もあるんだなと思った。使うようになったら気をつけて使いたいと思った。」という意見があった

指導のポイント・留意点

- ・映像は全部で事例4までであるが、小学生には1と2だけでよいと思う。
- ・保護者向けの映像もあるので、PTA懇談会等にも使えると思う。